

ハッカソンの動向

AI for Good Global Summit より

2020年5月28日
一般社団法人情報通信技術委員会 (TTC)
金子 麻衣

AI for Good Global Summitとは

- 国際連合のAIプラットフォームで毎年5月にジュネーブで開催するイベント、今年は12月までデジタルプログラムに移行
- COVID-19対策などグローバルな課題に関するAIの最新の開発や有望なユースケースを共有

開催概要	3/27～毎週1or2回 3～4月 COVID-19対策 5月～ スタートアップ紹介など幅広い分野に拡大
開催方法	Zoom
主催	ITU XPRIZE※
内容	60分～90分程度/回 モデレータ+講演者によるパネルディスカッション
概要	<ul style="list-style-type: none">• Zoomチャット機能を使って質問を受付• 当日のセミナー動画が後日公開（一部除き）• セミナーによっては資料も共有

※ 世界中のイノベーターを支援する非営利団体の財団、賞金レースを運営

5/20 : AI for Good Innovation Factory Episode#01

COVID-19 : クラウドソーシングとAIを組み合わせてパンデミックに取り組む

- 大規模ハッカソンのようなオンラインのクラウドソーシングによるイベントが、世界的な封鎖下で急増中。
- AIとクラウドソーシングを組み合わせて大量の文学作品から重要な情報を抽出したり、SNSを分析して重要なトレンドを見つけるプロジェクトが誕生

モデレーター :

- Geneva Tsinghua Initiative ジュネーヴ精華イニシアチブ (ジュネーブ大学と精華大学のSDGs達成に向けた教育プログラム) 事務局長

パネリスト :

- バルセロナ大学教授 AI関連研究者
- ミラノ工科大学教授 コンピュータ工学
- 欧州イノベーション会議 (European Innovation Council-Innovation Ecosystems Unit) 副本部長
- AIcrowd (AIを活用して課題を解決するプラットフォーム運営) CEO兼共同設立者

- 現実世界の問題を解決するAIのクラウドソーシングのプラットフォーム
- 機械学習や強化学習を使って、データサイエンスの専門家や学習者が共同で課題を解決するためのプラットフォーム
- 課題には、画像分類、テキスト認識、強化学習、敵対的攻撃、画像セグメンテーション、リソース割り当ての最適化、等多くの領域の問題が含まれる
- 様々なチャレンジが日々アップされている
(事例) マスクチャレンジ：
世界中の公衆衛生担当者を支援するために、リアルタイムで正確な状態でマスクをつけているか、検出するシステムを開発する取り組み

米国ゲームエンジン



Uber

Carnegie
Mellon
University

Stanford
University

Swiss Federal Railways
スイス連邦鉄道

VersusVirusハッカソン (スイス)

- 4/3-5 **48時間のオンラインハッカソン**に約4,500人・600のチームが参加
- 250のプロジェクトのうち42のプロジェクトが1,000スイスフラン (約11万円) 獲得
- 事例
 - ① 集中治療ベッドの見える化：スイス全ての病院の集中治療ベッドの稼働状況をリアルタイムで分析するアプリ、医療関係者の予測に活用
 - ② 顔に触れないようにするスマートウォッチアプリ：ユーザの動きを検出し、顔に触れそうになるとアラームを出すアプリ
 - ③ 従業員のストレスレベルの監視：管理者がメンバーのストレスレベルを監視できるツール、オンラインで質問に答えるだけでストレスレベルが0~10のスコアで測定
- 次は5/28-31
 - ① Protection of Risk Groups
 - ② Dissemination Prevention
 - ③ Trustable Data vs. Fake News
 - ④ Economic Impact
 - ⑤ Education
 - ⑥ After the Crisis
 - ⑦ Support & Solidarity
- 主催・後援：
約30の研究所・協会・企業が共同開催、連邦内務省・連邦経済教育研究省が後援
184のパートナー

#VersusVirus/ハッカソンパートナー



- Open17の略、チャレンジベースのオンラインインタラクティブコーチングプログラム
- **若いイノベーター**（対象：高校生・大学生・大学院生）が、**オープンデータとクラウドソーシングを組み合わせた優れたアイデア**を実行する支援をする取り組み
- **テーマ：COVID-19後の持続可能な社会を実現するためのアイデア**（6/10㍻切）
 - ① 質素な医療機 マスクや人口呼吸器を製造をするだけでない公衆衛生の課題への取り組みは？
 - ② パンデミック研究のためのクラウドソーシング
 - ③ 流行後の持続可能性
 - ④ クラウドソーシングによる良い仕事 失業率対策
- 5週間に2回のセッションで、**国際的な専門家やコーチからアドバイスやコーチング**を受け、アイデアを実行可能なプロジェクトに変換
- 協賛：
ジュネーブ大学[Citizen Cyberlab](#)（市民が研究に参加する新しい形態を検討）
パリ大学[CRI](#)
Gen-Z の[Goodwall](#)ソーシャルネットワーク
[AI for Good Global Summit](#)
[Crowd4SDG](#)（データ収集をサポートする方法を調査し、SDGsの進捗状況を追跡するプロセスを促進）
Geneva Tsinghua Initiative

本資料を作成するにあたり、不足している情報を調べ、個々に補完している（情報元は個別に記載）。スライド内に出典の記載がないものはAI for Good Global Summitからの引用である。

本日紹介した内容や、サミットのプログラムについて興味のある方は問い合わせいただきたい。

■ 問い合わせ先

TTC企画担当 金子 kaneko@s.ttc.or.jp



■ AI for Good Global Summit関連

- 2020年度のProgramme（更新中）

<https://aiforgood.itu.int/programme-2020/>

- スタートアップ募集中（～6/30）！

<https://aiforgood.itu.int/start-up-and-ideas-application-form/>

- Webinar企画募集

<https://aiforgood.itu.int/webinar-proposal/>